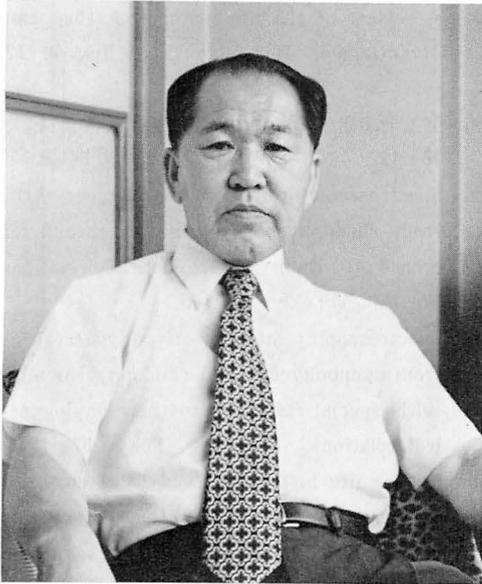


高橋永治*, 榎本幸人*, 熊野 茂*, 坪 由宏**: 広瀬弘幸先生の御逝去を悼む
Eiji TAKAHASHI, Sachito ENOMOTO, Sigeru KUMANO and Yoshihiro Tsubo:
Hiroyuki HIROSE (1912-1985)



神戸大学名誉教授、藻類学会名誉会員、農学博士、広瀬弘幸先生は去る昭和60年3月28日、73才で御逝去になりました。

先生は、大正元年8月12日、姫路市に生まれ、昭和10年北海道帝国大学理学部植物学科を卒業後、同年4月同大学副手、昭和15年5月同大学助手（農学部）、同23年4月北海道大学講師（農学部）を経て、昭和24年8月に教授として神戸大学文理学部姫路分校に就任されました。文理学部理科は改組に伴って、理学部となり、また昭和40年には大学院理学研究科が新設されました。その間、先生は、担当された系統学講座の充実と発展に尽くされ、昭和51年4月停年退官されました。

先生は、北海道大学在任中は、藍藻類の分類と生態の研究に従事され、北海道淡水産藍藻と東北、中部及び関東地方の温泉水に生育する藍藻を明らかにされ（1937-1949）、昭和24年1月、『日本の中部、関東及び東北地方に於ける温泉水性藍藻の分類学的及び生態学的研究』と題する論文により北海道大学から農学博士の学位を受けられました。神戸大学に着任されてから、淡水藻、温泉藻、土壌藻、淡水植物プランクトン及び海藻と広く藻類全般を研究の対象にされました。そして、イデユコゴモ (*Cyanidium caldarium*) が紅藻であること、新属・新種の寄生性緑藻の発見、藍藻と紅

藻の類縁関係の解明、数種の淡水プランクトンの発見、紀伊水道、瀬戸内海及び日本海西沿岸の海藻相の調査、海産緑藻の生活史における新発見など、多くの成果を挙げられました（1950-1981）。これらは52篇の原著論文として発表され、草創の時期にあった日本の藻類学の地位を高揚されました。そして、このような広範な研究成果に博い学識を加えられて、藻類の体系を平易に解説された『藻類学総説』を昭和34年に出版されました。また、日本の藻類学研究の高い水準を広く世界に示すお考えから、御自身を加えて22人の論文を集め、昭和50年にドイツ国、Gustav Fischer社から『Advance of Phycology in Japan』を出版されました。さらに日本産淡水藻の図鑑の刊行を企画され、10名の協力者と御自身の分担執筆を加え、13年の歳月を費やして、これまで公表された日本産淡水藻の全種を網羅した『日本淡水藻図鑑』を昭和52年に刊行され、日本淡水藻の分類学的研究の集大成を後世に残されました。

先生は、長らく日本植物学会と日本藻類学会の会員として活躍され、得られた新発見を弁舌さわやかに御発表されたり、総会での会費値上げに就いての質疑応答などを、柔らかくまとめられる御人柄でした。日本植物学会の評議員及び近畿支部長を歴任されたほか、古くは日本藻類学会、近年では国際藻類学会の設立発起人の一人として尽力され、また会長として両学会の発展に寄与されました。昭和46年8月、第7回国際海藻学会議が札幌市で開催されるにあたり、会長として尽力されました。また同50年12月には、藻類の分類に関する日米科学協力セミナーを企画され、これを神戸市で開催され、世界の藻類学者の交流と藻類学の進展に大きく寄与されました。昭和57年の日本藻類学会30周年記念講演では、日本藻類学会と日本の藻類研究の歩みについて講演されましたが、これが私共への最後の御講演となりました。また先生は、学術審議会専門委員や生物科学研究連絡委員会委員などの各種委員を歴任され、さらに兵庫県自然保護協会設立に努力されて初代理事長を勤められるなど、学外でも活躍されました。学内では、神戸大学附属臨海実験所の設立に奔走され、昭和38年に淡路島岩屋に設置されてから御退官までの13年間、所長として、その管理、運営、充実に尽力されました。このように藻類学研究の進展や生物学教育の振興など多方面に顕著な功績を残されたの

であります。これらの御功績に対して勲三等旭日中綬章が授与されました。

終りに先生の主要論文を紹介し、心から御冥福を御祈り申し上げます。

(*657 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学理学部, **同神戸大学教養部)

主要著書・論文

- 1959 藻類学総説。内田老鶴圃新社, 東京.
- 1975 Advance of Phycology in Japan. Gustav Fischer, Jena.
- 1977 日本淡水藻図鑑。内田老鶴圃新社, 東京.
- 1937-8 北海道産藍藻類 1-5. 植物研究雑誌 13: 492, 569, 794; 14: 89, 164.
- 1940 日本産温泉植物の研究。植物及動物 7: 2009.
- 1943 日本淡水産あをのり属ノ一種かほあをのりニ就テ。植物研究雑誌 19: 252.
- 1950 イデユコゴメ *Cyanidium caldarium* (TILDEN) GEITLER の生態と分布とに就いて。植物研究雑誌 25: 179.
- 1950 Studies on a thermal alga, *Cyanidium caldarium*. Bot. Mag. Tokyo 63: 107.
- 1954 Studies on the reproduction of *Tetraspora gelatinosa* (VAUCH.) DESV. Biol. J. Okayama Univ. 2: 13.
- 1954 Studies on the morphology and behaviour of the reproductive cells of *Chaetomorpha okamurai* UEDA. Cytologia 19: 358.
- 1955 日本新産緑藻 *Cloniophora pulmosa* について。植物研究雑誌 30: 233.
- 1958 Rearrangement of the systematic position of a thermal alga, *Cyanidium caldarium*. Bot. Mag. Tokyo 71: 347.
- 1961 A newly found terrestrial alga from Japan, *Fritschiella tuberosa* IYENGAR. Bot. Mag. Tokyo 73: 365.
- 1962 A new species of *Pectodictyon*. Bot. Mag. Tokyo 75: 140.
- 1962 カワモズク属 3 種の変異。植物研究雑誌 75: 140.
- 1962 日本産ネンジュモ属について。植物分類地理 20: 296.
- 1963 *Pseudotetrademus*, a new genus of Scenedesmaceae. Bot. Mag. Tokyo 75: 313.
- 1964 A review of the life history of the genus *Monostroma*. Bull. Jap. Soc. Phycol. 12: 19.
- 1966 強放射能温泉に生育する温泉植物。温泉科学 16: 129.
- 1966 Spectroscopic studies on the phycoerythrins from rhodophycean algae with special reference to their phylogenetical relations. Bot. Mag. Tokyo 79: 105.
- 1969 Spectroscopic studies on phycoerythrins from cyanophycean and rhodophycean algae with special reference to their phylogenetical relations. Bot. Mag. Tokyo 82: 197.
- 1970 On the life history of *Anadyomene wrightii* with special reference to the reproduction, development, and cytological sequences. Bot. Mag. Tokyo. 83: 270.
- 1971 A colourless, filamentous chlorophycean alga, *Cladogonium ogishimae*, gen. et sp. nov., parasitic on fresh-water shrimps. Bot. Mag. Tokyo 84: 137.
- 1971 Freshwater algae of Japan, with special reference to their taxonomy. Proc. 7th Int. Seaweed Symp. (1971): 218.
- 1972 Culture studies on artificially induced aplanospores and their development in the marine alga *Boergesenia forbesii* (HARVEY) FELDMANN (Chlorophyceae, Siphonocladales). Phycologia 11: 119.
- 1974 淡水産紅藻ベニマダラ属の一種 *Hildenbrandia rivularis* (LIEB.) J. AG. の生長について。藻類 22: 10.
- 1981 The life history of *Caulerpa okamurai* W. VAN-BOSSE. Proc. 8th Int. Seaweed Symp. (1981): 112.

舟橋説往： 川端清策先生の御逝去を悼む Setsuo FUNAHASHI: Seisaku KAWABATA
(1906-1985)



日本藻類学会会員，元高崎経済大学長川端清策先生は昭和60年4月11日札幌市において，クモ膜下出血のため御逝去になりました。享年78歳でした。御葬儀は4月13日札幌市中央区南11条西13丁目大有寺でとり行われました。

先生は，明治39年8月31日群馬県伊勢崎市に生れ，大正13年3月県立太田中学校を卒業，翌年4月群馬県佐波郡豊受尋常高等小学校代用教員を振出しに，昭和60年3月末日，道都短期大学長，同大海洋生物研究所長の兼職を最後として退任されるまで，60余年の永きに亘り，研究・教育の道を歩まれました。

先生の御履歴は次のようであります。上述の代用教員時代，郷里群馬県より翌大正15年4月北海道に転じ空知郡志文尋常小学校に奉職，昭和2年1月軍隊に入営のため退職，同3年4月第2高等学校入学，同6年4月北海道帝国大学理学部植物学科に入学，同10年3月同大学を卒業されました。卒業研究では，後に日本藻類学会の初代会長となられた山田幸男教授の御指導で，色丹島の海藻フロラを研究されました。後述の業績目録の最初の論文がその研究成果であります。昭和10年大学卒業後，直ちに東海高等女学校に教諭として就職され，その後，昭和12年3月茨城師範学校教諭に転じ，さらに同15年3月日立製作所教員，同21年3

月夕張市立中学校教諭，同23年4月北海道立夕張高等学校教諭，同25年4月北海道立夕張北高等学校教諭，同年8月北海道岩見沢西高等学校教諭，同27年4月北海道学芸大学助教授をへて，同31年4月同大学教授となり，同45年3月停年退職，同年4月高崎経済大学教授，同47年3月停年退職，同49年1月高崎経済大学長に就任，同51年1月任期満了退職，同年2月道都短期大学教授，同年4月同短期大学副学長，同53年4月道都大学副学長，同57年3月停年退職，同年4月道都大学名誉教授，同59年4月道都大学海洋生物研究所長，同年8月道都短期大学長，同60年3月31日勇退されました。この学長御退任の10日後に御急逝となりました。

先生の研究・教育のひとつの道は，60年余に及び，正に激動の昭和史と軌を一にされた様に思います。先生は60余年間の教育・研究活動の前半を初等・中等・高等教育に尽力されましたが，後半の30余年は大学教育と大学運営に力を注がれると共に御専攻の海藻の分類学の分野で，後述のように，業績を多数学界に発表されました。特に「日本産ムカデノリ科の系統学的研究」は先生の代表的な御業績で，この研究により北海道大学より昭和37年2月理学博士の学位を授与されました。また日本植物学会会員，日本藻類学会会員，国際藻類学会会員，日本理科教育学会理事として活躍されました。以上の様な多年の先生の御功績が認められ，昭和53年11月文化の日に，勲三等旭日中綬章を叙贈されました。さらに先生は多趣味の方で魚釣り，囲碁，園芸をたのしまれました。

先生は，大学運営の御業績からもわかりますように，卓抜した先見性と決断力をお持ちでした。しかも人格は円満で清潔であり，常に温情溢れる人間味と後進への思いやりに満ちておりました。先生を知る人々はいつまでも敬慕の念を抱き続けることであらう。

茲に，ありし日の先生を偲び，御履歴および御業績を略述し，心より御冥福をお祈りいたします。本文のために先生の御写真を提供下さいました札幌市円山の千代夫人に厚くお礼を申し上げます。

(370 高崎市上並榎町 1300 高崎経済大学)

研究業績目録

- 1936 A list of Marine Algae from the Island of Shikotan. 北海道大学海藻研究所報告 Vol. 1, No. 2.
- 1937 茨城県沿岸の海藻 (1). 茨城県博物同好会誌 Vol. 8.
- 1938 同上 (2). 同上.
- 1939 茨城県 (常陸国) 沿岸の海産藻類。植物及び動物 Vol. 7, No. 9.
- 1954 紅藻フダラクの体の構造と生殖器官。藻類 Vol. 2, No. 3.
- 1955 ムカデノリ科の一紅藻の体の構造と生殖器官について。藻類 Vol. 3, No. 1.
- 1956 紅藻ヒジリメンの体の構造と生殖器官について。藻類 Vol. 4, No. 1.
- 1957 陸奥国大間産紅藻アカハダの体の構造と生殖器官について。藻類 Vol. 5, No. 1.
- 1958 紅藻タンバノリの体の構造と生殖器官。藻類 Vol. 6, No. 1.
- 1959 北海道渡島国北海道学芸大学生物教育尻岸内臨海実験所附近産海藻。北海道学芸大学紀要 Vol. 10, No. 2.
- 1962 A contribution to the Systematic Study of the Grateloupiaceae from Japan. 北海道学芸大学紀要 Vol. 13, No. 1.
- 1663 同上 (2)。同上, No. 2.
- 1968 茨城県沿岸の海産藻類の追補。フロラ茨城 No. 39.
- 〈上記海藻関係論文の他に、顕花植物の著書がある〉
- 1938 鹿島神宮城の植物目録。同神宮社務所発行。
- 1957 生物学(テキスト)。NHKラジオサービスセンター発行。
- 1963 岩見沢市の植物。岩見沢市史 岩見沢市発行。

賛助会員

- 北海道栽培漁業振興公社 060 札幌市中央区北4西6 毎日札幌会館内
- 阿寒観光汽船株式会社 085-04 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔
- 有限会社 シロク商会 260 千葉市春日1-12-9-103
- 海藻資源開発株式会社 160 東京都新宿区新宿1-29-8 財団法人公衆衛生ビル内
- 協和醗酵工業株式会社 バイオ事業本部 バイオ開発部
100 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル
- 全国海苔貝類漁業協同組合連合会 108 東京都港区高輪2-16-5
- K. K. 白壽保健科学研究所・原 昭 邦 173 東京都板橋区大山東町32-17
- 有限会社 浜野顕微鏡 113 東京都文京区本郷5-25-18
- 株式会社ヤクルト本社研究所 189 東京都国立市谷保1769
- 山本海苔研究所 143 東京都大田区大森東5-2-12
- 秋山 茂商店 150 東京都渋谷区神宮前1-21-9
- 弘学出版株式会社 森田悦郎 214 川崎市多摩区生田8580-61
- 田崎真珠株式会社 養殖研究開発室 650 神戸市中央区港島中町6-3-2
- 神協産業株式会社 742-15 山口県熊毛郡田布施町波野962-1